

月 日 ( ) 名前 \_\_\_\_\_

1 教科書6 ページの□1を声に出して読みましょう。

(1) できたジュースの量を求めるための、式と求め方を考えました。次の□にあてはまる数をかきましょう。

(式)  +

＜求め方＞

0.038 は、0.001 が  個、

0.19 は、0.001 が  個だから、

0.001 が (38+190) 個になります。

(2) できたジュースの量を筆算で求めましょう。

(3) 教科書7 ページの残りのシロップの量の求め方を見て、できたジュースの量の求め方と、似ているところを探しましょう。

2 まとめです。次の ( ) の中を声に出して読みましょう。

小数点から下のけた数がちがうときも、位をそろえると、たし算やひき算をすることができます。

3 教科書7 ページの△2の問題に取り組みましょう。

①

②

「整数と小数」

教科書 10 ページ～11 ページ

月 日 ( ) 名前 \_\_\_\_\_

1 教科書 10 ページの飛行機の絵を見ましょう。全長は 56.72mあります。

(1) 56.72 は、どんな数ですか。次の□にあてはまる数をかきましょう。

10 を  個、1 を  個、  
 0.1 を  個、0.01 を  個  
 あわせた数

0.01 を  
 個  
 集めた数

(2) 整数や小数の関係について、次の ( ) にあてはまる言葉や数をかきましょう。

整数や小数では、数字のかかれた位置で ( ) がきまります。  
 となりあう位との間には、( ) 倍、( ) の関係があります。

2 教科書 11 ページの  を声に出して読みましょう。

(1) 56.72 を 10 倍すると、いくつになりますか。

(2) 56.72 の  $\frac{1}{10}$  は、いくつになりますか。

3 まとめです。次の ( ) の中を声に出して読みましょう。

10 倍すると、小数点が右に 1 けた移ります。 $\frac{1}{10}$  すると、小数点が左に 1 けた移ります。

4 教科書 11 ページの  の問題に取り組みましょう。

(1) 60.12 を 10 倍すると  、  $\frac{1}{10}$  すると  。

(2) 16.92 を 10 倍すると  、  $\frac{1}{10}$  すると  。

\_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( ) \_\_\_\_\_ 名前 \_\_\_\_\_

1 教科書 12 ページ 3 を声に出して読みましょう。

(1) 42.195 を 10 倍、100 倍、1000 倍したときの数を求めましょう。□にあてはまる数をかきましょう。

10 倍したとき  $42.195 \times 10 =$

100 倍したとき  $42.195 \times 100 =$

1000 倍したとき  $42.195 \times 1000 =$

(2) (1) で求めた数を順に調べると、きまりが見つかりました。どのようなきまりがあるのかを考えましょう。

2 まとめです。次の ( ) の中を声に出して読みましょう。

{

整数や小数を、10 倍、100 倍、1000 倍すると、小数点は、右にそれぞれ 1 けた、2 けた、3 けた<sup>うっ</sup>移ります。

}

3 教科書 12 ページの 4 5 6 の問題に取り組みましょう。

<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</span> ① 2.367</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 150px; height: 100px; margin-left: 10px;"> <tr><td style="text-align: center;">(10倍)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">(100倍)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">(1000倍)</td></tr> </table>	(10倍)	(100倍)	(1000倍)	<p>② 0.082</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 150px; height: 100px; margin-left: 10px;"> <tr><td style="text-align: center;">(10倍)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">(100倍)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">(1000倍)</td></tr> </table>	(10倍)	(100倍)	(1000倍)	<p>③ 0.5</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 150px; height: 100px; margin-left: 10px;"> <tr><td style="text-align: center;">(10倍)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">(100倍)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">(1000倍)</td></tr> </table>	(10倍)	(100倍)	(1000倍)
(10倍)											
(100倍)											
(1000倍)											
(10倍)											
(100倍)											
(1000倍)											
(10倍)											
(100倍)											
(1000倍)											

5 ① 57.1 ( ) 倍    ② 5710 ( ) 倍    ③ 571 ( ) 倍

6 ①  $0.25 \times 10 =$      ②  $7.93 \times 100 =$

③  $0.14 \times 1000 =$

「整数と小数」

\_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( ) 名前 \_\_\_\_\_

1 教科書 13 ページ 7 を声に出して読みましょう。

(1) 108.9 を  $\frac{1}{10}$ 、 $\frac{1}{100}$ 、 $\frac{1}{1000}$  にしたときの数を求めましょう。□にあて

はまる数をかきましょう。

$\frac{1}{10}$  にしたとき  $108.9 \div 10 =$

$\frac{1}{100}$  にしたとき  $108.9 \div 100 =$

$\frac{1}{1000}$  にしたとき  $108.9 \div 1000 =$

(2) (1) で求めた数を順に調べると、きまりが見つかりました。どのようなきまりがあるのかを考えましょう。

2 まとめです。次の ( ) の中を声に出して読みましょう。

{

整数や小数を、 $\frac{1}{10}$ 、 $\frac{1}{100}$ 、 $\frac{1}{1000}$  にすると、小数点は、左に

それぞれ 1 けた、2 けた、3 けた<sup>3つ</sup>移ります。

}

3 教科書 13 ページの 8 9 10 の問題に取り組みましょう。

<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">8</span> ① 256.4</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100%;"> <tr><td style="text-align: center;"><math>\frac{1}{10}</math></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><math>\frac{1}{100}</math></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><math>\frac{1}{1000}</math></td></tr> </table>	$\frac{1}{10}$	$\frac{1}{100}$	$\frac{1}{1000}$	<p>② 40.1</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100%;"> <tr><td style="text-align: center;"><math>\frac{1}{10}</math></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><math>\frac{1}{100}</math></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><math>\frac{1}{1000}</math></td></tr> </table>	$\frac{1}{10}$	$\frac{1}{100}$	$\frac{1}{1000}$	<p>③ 70</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100%;"> <tr><td style="text-align: center;"><math>\frac{1}{10}</math></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><math>\frac{1}{100}</math></td></tr> <tr><td style="text-align: center;"><math>\frac{1}{1000}</math></td></tr> </table>	$\frac{1}{10}$	$\frac{1}{100}$	$\frac{1}{1000}$
$\frac{1}{10}$											
$\frac{1}{100}$											
$\frac{1}{1000}$											
$\frac{1}{10}$											
$\frac{1}{100}$											
$\frac{1}{1000}$											
$\frac{1}{10}$											
$\frac{1}{100}$											
$\frac{1}{1000}$											

9 ① 2.93 ( )    ② 0.0293 ( )    ③ 0.293 ( )

10 ①  $6.8 \div 10 =$      ②  $32.8 \div 100 =$      ③  $0.14 \div 1000 =$

「整数と小数」

教科書 14 ページ～15 ページ

月 日 ( ) 名前 \_\_\_\_\_

- 1 教科書 14 ページの  $\triangle 1$   $\triangle 2$   $\triangle 3$   $\triangle 4$  の問題に取り組みましょう。  
それぞれの問題を声に出して読んでから取り組みましょう。

$\triangle 1$  ①

(10倍)
(100倍)
(1000倍)

②

$(\frac{1}{10})$
$(\frac{1}{100})$
$(\frac{1}{1000})$

$\triangle 2$  ①

--

②

--

$\triangle 3$

--

$\triangle 4$

--

- 2 整数と小数の学習をふりかえりましょう。教科書 15 ページの「わかったこと」や「できるようになったこと」、「もっとやってみたいこと」などをかきましょう。ひなたさんやだいちさんのふりかえりを参考にしましょう。

--

「体積」

\_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( \_\_\_\_\_ ) 名前 \_\_\_\_\_

- 1 教科書 16 ページの絵を見て、問題を声に出して読みましょう。
- (1) 教科書 16 ページの㊸と㊹の箱のたて、横、高さの和を求めましょう。

㊸の箱 式  答え

㊹の箱 式  答え

- (2) 箱（直方体や立方体）のたて、横、高さの和が同じときは、かさも同じといえますか。どちらかに○をつけ、予想してみましょう。  
( かさも同じ ・ かさはちがう )

- (3) あてはまる言葉を ( ) の中に入れましょう。

㊸と㊹の箱のかさをくらべるために、まず、重ねてくらべます。重ねてもわからないときは、面積と同じように、( ) で表すことができれば、くらべることができます。

- 2 教科書 17 ページの㊸と㊹のかさの表し方を調べます。  
1 辺が 1 cm の立方体をならべると何個あるかを求めましょう。

㊸ 12 個が 2 だんで  個      ㊹ 9 個が 3 だんで  個

- 3 まとめです。次の ( ) の中を声に出して読みましょう。

かさのことを<sup>たいせき</sup>体積といいます。体積は、1 辺が 1 cm の立方体が何個分あるかで表します。  
1 辺が 1 cm の立方体の体積を 1 <sup>りっぽう</sup>cm<sup>3</sup>とかき、「1 立方センチメートル」とよみます。cm<sup>3</sup>は体積の単位です。

- 4 ㊸の体積は  cm<sup>3</sup>、㊹の体積は  cm<sup>3</sup> です。